



Young Coordination Chemist's Association Japan

# 錯体化学若手の会

URL: <http://www.sakutai.jp/yccaj/>

Twitter ID: @sakutai\_wakate



## 錯体化学若手の会ニュースレター

### 2022年度 第1号

#### 目次

1. 2022年度事務局よりご挨拶
2. 錯体化学若手の会夏の学校2022のお知らせ
3. 開催予告：第12回ウェブ勉強会  
錯体化学討論会シンポジウム
4. 錯体化学若手の会 2021年度会計および会員状況報告
5. 会員の最新論文紹介
6. 錯体化学若手の会 入会のご案内

**発行** 事務局 大津 博義（ソニーグループ） E-mail: ohtsu002[at]gmail.com

#### 錯体化学若手の会事務局（2022年度）

代表:大津 博義（ソニーグループ株式会社）

E-mail: ohtsu002[at]gmail.com

会計：森本 祐麻（阪大院工） E-mail: y-morimoto[at]mls.eng.osaka-u.ac.jp

錯体化学若手の会ニュースレター、ウェブサイトおよびメールニュースへの記事掲載は、事務局（sakutai.wakate[at]gmail.com または ohtsu002[at]gmail.com）までご連絡ください。

※ メールアドレスはいずれも[at]を @ に変えて下さい

## 1. 2022年度事務局よりご挨拶

ソニーグループ 大津 博義

2022年度の錯体化学若手の会事務局は、代表：大津 博義(ソニーグループ株式会社)、会計：森本 祐麻 (阪大院工)、次年度事務局：松岡 亮太 (分子研)、ならびに監事：川守田 創一郎 (阪大基礎工) の4名で担当させていただきます。本年度も若手の会の活動をよろしく願いいたします。

錯体化学若手の会は、これまで若手研究者間の密なコミュニケーションを実践する様々な場を提供してきました。今年度も従来型の活動は難しいですが、オンラインと対面を組み合わせたアプローチで交流を深めることができればと思います。昨年度まではCOVID-19の感染拡大を鑑み、Webおよびオンラインツールを活用した企画を行ってきました。本年度もこれらオンラインの長所を活かした企画取組の継続と合わせて、徐々に対面の活動も再開できればと思います。その旗振り役として、本会のメインイベントの夏の学校を対面で行います。これまでの夏の学校とは違った形式になりますが、久しぶりの対面の機会として楽しみにしていただければと思います。また、久しぶりに対面の錯体化学討論会においても若手の会主催のシンポジウムがあります。ぜひご参加ください。

ここ数年、COVID-19によって学生さん同士の交流が途絶えがちになっていることを特に実感しています。事務局を行っているくらいの世代であれば、COVID-19以前から顔なじみで、Webで会っても『久しぶり!』と声掛けできますが、学生さんや卒業したての若い世代は対面学会に参加できておらず、このような声掛けも難しいものがあります。偶然の出会いとか、中々期待できないですね。そこで、ぜひ、若手の会をコミュニケーションの場として利用して新たな交流相手を探してください。そのためのお手伝いなら何でも引き受けます。手を挙げ、声を挙げて一歩を踏み出してみませんか。連絡お待ちしております。若手の会の新しい存在様式を色々と考えていくべき時なのだと思いますので、会員の皆様の忌憚ない意見をいただければ幸いです。個人的なことですが、事務局の大津は今年の4月より大学から企業に転籍いたしました。大学の助教としてみてきた風景と企業人としてみている風景にはやはり違いがあります。企業と大学の視点の相違を本会にもうまくフィードバックできるよう努めてまいります。

錯体化学若手の会 Twitter アカウント (@sakutai\_wakate) を用いた発信も、昨年に引き続き、積極的に行ってまいります。ご自身の論文が受理されましたら、情報発信の手段として本アカウントをご活用ください(要領は7ページをご参照ください)。なお、論文紹介や第2号以降のニュースレター配信、世話人会議の議事録閲覧は、若手の会の会員限定コンテンツとなっておりますので、本年度の継続手続きを行っていない学生会員の皆さまはぜひ継続をお願いいたします。

## 2. 錯体化学若手研究会「錯体化学若手の会夏の学校 2022」のお知らせ

ソニーグループ株式会社 大津博義

今年度の錯体化学若手の会夏の学校は、8月2～4日（火～木）に東京工業大学大岡山キャンパスにて開催いたします。本年度は、宿泊を伴う会を未だ設定できないことを残念に思いますが、多くの皆様と対面で交流できることを目指して準備を進めております。皆様からの参加申し込みをたくさんいただき、130名以上参加の盛会となる予定です。なお、感染症拡大状況によってはオンライン開催も検討いたします。

### 錯体化学若手研究会「錯体化学若手の会夏の学校 2022」 開催概要

**日時** 2021年8月2日（月）午後～4日（水）正午頃

**方式** 対面、東京工業大学 大岡山キャンパス デジタル多目的ホール

**ウェブサイト** <http://www.sakutai.jp/yccaj/summer/index.html>

**参加登録** 参加登録は定員に達したため終了しております。

#### 招待講演者（順不同）

嘉部量太 先生（沖縄科学技術大学院大学）、河野正規 先生（東京工業大学）、川本達也 先生（神奈川大学）、北野政明 先生（東京工業大学）、張 浩徹 先生（中央大学）、中室貴幸 先生（東京大学）、久木一朗 先生（大阪大学）、三宅由寛 先生（兵庫県立大学）、八島栄次 先生（名古屋大学）、山下正廣 先生（東北大学）

#### 問い合わせ先

大津博義（ソニーグループ株式会社）、亀渕 萌（日本大学文理学部）

E-mail: ohtsu002[at]gmail.com (大津), kamebuchi.hajime[at]nihon-u.ac.jp (亀渕)

## 3. 開催予告：ウェブ勉強会 および 錯体化学討論会シンポジウム

### 3.1 錯体化学若手の会 第12回ウェブ勉強会

**日時**：2022年8月18日（木）14:00～17:00（3時間程度）

**主催**：錯体化学若手の会

**場所**：オンライン開催（Cisco Webex Meetings）

**参加費**：無料（要事前登録）

**参加登録**：下記の URL より登録をお願いいたします。

後日ミーティングリストをお送りいたします。

<https://t.co/BKEvMbUZqt>

**参加締切**：2022年8月17日（水）

### タイムテーブル

14:00-14:05 開会のあいさつ

14:05-15:05 田中 一生先生（京都大学大学院工学研究科高分子化学専攻 教授）

「励起駆動型錯体を基盤とした刺激応答性発光材料の開発」

15:05-16:05 長谷川 靖哉先生（北海道大学大学院工学研究院応用化学部門 教授）

「発光性の希土類錯体をつなぐ：新しい配位高分子の世界」

16:05- フリーディスカッション

### 問い合わせ先:

藤井俊樹（錯体化学若手の会近畿支部・京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科）  
d0871004[at]kit.edu.ac.jp

## **3.2 錯体化学第72回討論会シンポジウム（若手の会主催）**

日時：2022年9月26日（月）夕方（3時間程度）

主催：錯体化学会

場所：九州大学伊都キャンパス

参加締切：7月29日（金）（討論会参加締切と同様）

### 講演者（五十音順）

洪 達超 先生（産業技術総合研究所）、齋藤 徹 先生（広島市立大学）、鈴木 康介 先生（東京大学）、鷹谷 絢 先生（東京工業大学）、坪ノ内 優太 先生（新潟大学）

### 問い合わせ先：

森本 祐麻（錯体化学若手の会事務局、大阪大学）y-morimoto[at]mls.eng.osaka-u.ac.jp

三澤 智世（錯体化学若手の会関東支部、上智大学）t\_misawa[at]sophia.ac.jp

## 4. 錯体化学若手の会 2021年度会計および会員状況報告

北海道大学 大学院理学研究院 吉田将己

| <収入>         | 執行額        | 備考                    |
|--------------|------------|-----------------------|
| 前年度繰越金       | ¥1,263,716 |                       |
| 年会費          | ¥288,000   | 学生会員分（290名中2名は昨年度支払済） |
| 次年度年会費（1名）   | ¥1,000     | 重複支払分                 |
| 錯体化学会からの移算   | ¥127,000   | 一般会員年会費相当分            |
| 受取利子         | ¥2         |                       |
| 収入計          | ¥1,679,718 |                       |
| <支出>         | 執行額        |                       |
| 夏の学校支援金      | ¥150,000   |                       |
| 討論会シンポジウム支援金 | ¥30,000    |                       |
| 支部活動支援金      | ¥10,000    | 中国・四国支部勉強会            |
| ウェブ勉強会講師謝金   | ¥55,000    |                       |
| ウェブ勉強会開催経費   | ¥7,370     | Zoom アカウント            |
| 輪読会開催経費      | ¥1,800     | Google workspace      |
| 通信費・振込手数料    | ¥1,815     |                       |
| 次年度繰越金       | ¥1,423,733 |                       |
| 支出計          | ¥1,679,718 |                       |
| 差引残高         | ¥0         |                       |

## ○支部別の会員数動向（2022年3月22日現在）

| 支部名       | 会員数（前年度増減）       | 会費納入者数     |
|-----------|------------------|------------|
| 北海道・東北    | 45 (-2)          | 45         |
| 関東        | 143 (+21)        | 143        |
| 北陸        | 21 (+8)          | 21         |
| 中部・東海     | 24 (-3)          | 24         |
| 近畿        | 114 (+25)        | 114        |
| 中国・四国     | 24 (-2)          | 24         |
| 九州・沖縄     | 45 (-3)          | 45         |
| 不明・海外     | 01 (+1)          | 01         |
| <b>合計</b> | <b>417 (+45)</b> | <b>417</b> |

(会員数内訳：一般127名、学生290名)

## 5. 会員の最新論文紹介



清水剛志<sup>1</sup>, 豆生田匠海<sup>2</sup>, 豊島広樹<sup>2</sup>, 秋吉亮平<sup>2</sup>, 鎌倉吉伸<sup>2</sup>, 若松勝洋<sup>2</sup>, 田中大輔<sup>2</sup>, 吉川浩史<sup>2</sup> (<sup>1</sup>米子高専, <sup>2</sup>関学大理)

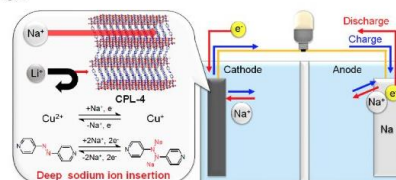
### Application of Porous Coordination Polymer Containing Aromatic Azo Linker as Cathode-Active Materials in Sodium-Ion Batteries

ACS Appl. Energy Mater. **2022**, 5, 4, 5191-5198

<https://pubs.acs.org/doi/10.1021/acsaem.2c00537>

#### ポイント

- 銅イオンとアゾ配位子を含むMOFを正極材料とすることで高容量・高電圧を示すナトリウムイオン電池の開発に成功
- Operando XANES測定により充放電反応機構を解明



錯体化学若手の会では、会員内での情報共有と学生会員のエンカレッジを目的として、2018年度より会員の発表した論文をTwitter (@sakutai\_wakate) およびニュースレターで紹介しています。論文の掲載が決定された方は、是非本コーナーへの寄稿をお願いします。皆さまの積極的な投稿をお待ちしております。

#### 掲載の条件

若手の会会員による最近の論文（およそ半年以内）であり、論文のPDFデータがオンライン掲載され、DOIが割り当てられていること

#### 投稿要領

若手の会ウェブサイトよりダウンロードしたテンプレートに論文情報を入力し、電子メールにて下記担当者に送付ください。なお、送付前に必ず指導教員の許可を得て、その旨を本文に明記してください。

#### 担当（2022年度）

森本 祐麻（阪大院工） [y-morimoto\[at\]mls.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:y-morimoto@mls.eng.osaka-u.ac.jp) ([at]を @ に変えて下さい)

## 6. 錯体化学若手の会 入会のご案内

本会は、錯体化学会の支部として錯体化学に関連した分野で研究を行っている若手の研究者（大学・企業・研究所の研究者）および大学院生・大学生の交流・情報交換を通して、自らの研究に対する情熱と知識を高め、エンカレッジする会です（2021年度の会員数 417 名）。錯体化学に関心のある学生または 40 歳以下の方であれば、スタッフ・企業人・大学関係者等の所属や身分を問わず、どなたでも入会いただけます。日本全国の同世代の研究者と知り合い、研究の視野を拡げるためにも積極的に本会を利用して下さい。（Slack での活動については、若手の会への入会を義務としておりません。是非、皆様の周りにも参加をおすすめ下さい。）

### 会員特典と活動内容

ウェブ勉強会および支部・地区単位での勉強会の開催  
若手の会 Twitter アカウントにおける会員の論文紹介  
錯体化学若手の会ニュースレター（年 4 回）の配布  
錯体化学会討論会への学生参加登録資格と学生講演賞／ポスター賞の応募資格  
錯体化学会誌（BJSCC）電子版の配布  
若手の会および錯体化学会会員名簿の閲覧（名簿記載者のみ）  
若手の会および錯体化学会メーリングリストによる情報発信  
夏の学校の開催（会員は参加費の割引あり）

### 入会手続き

若手の会の会員は一般会員と学生会員の 2 種類からなり、それぞれ入会手続き方法が異なります。会員区分を問わず年会費は¥1,000（年度区分は 4 月 1 日～翌年 3 月 31 日）です。錯体化学会の正会員の方は年会費が免除されます。

- 一般会員 若手の会ウェブサイト「問い合わせフォーム」より事務局へご連絡ください。折り返しご連絡いたします。自動更新されるため、年度ごとの手続きは必要ありません。
- 学生会員 錯体化学会入会申込ページ (<http://www.sakutai.jp/membership/>) にて手続きください。錯体化学会の学生会員として入会手続きすることで、自動的に若手の会の会員として登録されます。若手の会の年会費（¥1,000）以外に、追加の支払いはありません。

※ 学生会員は自動更新されません。年度ごとに更新手続きをしてください。

登録に際して集めた情報のうち、本人の同意がある情報については錯体化学会の会員限定コンテンツにて閲覧可能になります。平成 17 年 4 月より「個人情報保護法」が施行になったため、以上をご理解いただいたうえ会員登録の際に名簿への記載に関して同意いただけるかどうかを必ず明記ください。詳細は若手の会ウェブサイトを参照または事務局までお問い合わせください。